

Case : 74

ハンドル部分に荷重をかけ歩行していて、前方に転倒しそうになる

場面の説明

利用者が、両腕をハンドルに乗せ寄りかかって歩行していた



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 段差・縁石
介護保険の種目	—
分類コード (CCTA95)	120690 (シルバーカー)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

シルバーカーは、基本的には独力での歩行が可能な人が長距離の移動の際に途中で休憩をしたり、荷物を運んだりすることを補助する福祉用具です。過度に寄りかかり荷重をかけるとバランスを崩しやすく危険です。また製品自体の強度も身体を支えるには不十分で、間違った使い方では破損や故障が起こりやすくなります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：独力での歩行ができない状態だった
- 人：寄りかかり身体を支えてくれる道具だと思い込んでいた
- 人：提供者からの注意喚起が欠けていた
- モノ：利用者の身体状況に合う用具ではなかった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 74

ハンドル部分に荷重をかけ歩行していて、前方に転倒しそうになる

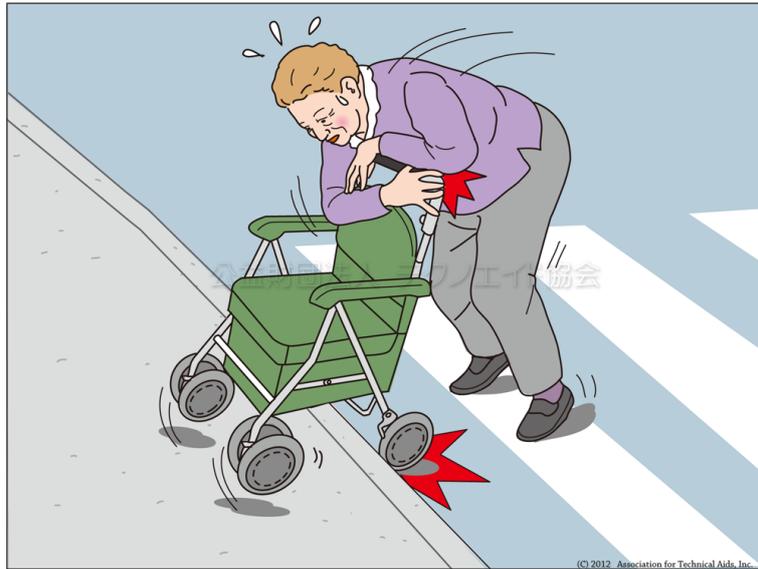
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

利用者が、両腕をハンドルに乗せ寄りかかって歩行していた



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ